

開催地名：東京都品川区	
開催日時	令和4年12月11日（日） 10：00 ～ 11：30
開催場所	品川区立第二延山小学校
語り部	太田 千尋 （宮城県仙台市）
参加者	防災区民組織 56名
開催経緯	災害時の避難施設に関しては、避難所や広域避難場所など名称が似通っており、区民へ適時適切な避難方法を啓発することが課題である。実災害を経験した方の講話を通じて、区民の避難に対する理解が進むことが期待される。
内容	<p>（1）3.11 東日本大震災</p> <p>私は震災発生当時、仙台市消防局に勤務しており、この悲惨な情景を目の当たりにした。地震のエネルギーを表す単位であるマグニチュードは 9.0 と日本最大の地震で、東北沖の東西 150 キロメートル、南北 350 キロメートルの海底の広い範囲が震源だった。仙台市内では宮城野区が震度 6 強、青葉区、若林区、泉区が震度 6 弱、太白区が震度 5 強を記録した。関東大震災のマグニチュードは 7.9 と記録されている。マグニチュードが 1 増えると、地震のエネルギーは約 32 倍になることから、この地震がいかに大規模なものだったかがわかるはずだ。</p> <p>この地震による人的被害は死者（市内で死亡が確認された方）が 904 人（仙台市民以外の方 95 人を含む）、建物被害は全壊が 30,034 棟、大規模半壊が 27,016 棟、半壊が 82,593 棟と記録されている。なお、これだけ建物の被害が出たにもかかわらず、死者のほとんどが津波によるもので、地震そのものによる死者はほとんどいなかった。</p> <p>（2）避難所で浮かび上がった問題点とその対策</p> <p>地震後は仙台市中心部でも帰宅困難者が発生し、避難所が開設された。仙台市の人口約 100 万人のうち、1 割にあたる 10 万人以上の人々が避難所に避難したと言われている。避難所には、発災後すぐに大勢の方々が身を寄せる。仙台市では、避難所の運営は、その地区の自治会長たちで作った避難所の運営委員会で行っており、そしてその運営委員会の中で、分野別に班を構成し、住民主体の役割分担をしていた。東日本大震災の際は、これらの運営委員会が速やかに避難所を開設したところは上手く機能したが、市の職員が担当していた避難所では開設までに時間を要し、運営が軌道に乗るまで大変だったようだ。また、元気な住民から避難してくるため、体力のない高齢者やケアの必要な住民が避難して来る頃には、トイレのそばや暖房の効いた温かい場所等の生活環境の良いスペースは空いていない。このあたりについては、各自治体で配慮が必要になると思われるので是非ご検討いただきたい。</p> <p>さらには、着替えをする場所がなかったり、女性用の物干し場がないことから下着が干せなかったり、生理用品やおむつ、粉ミルクの不足や配布方法に不手際が発生するなど、様々な問題が発生した。これらは、自主防災組織の中に女性リーダーが配置されていれば改善されるケースが多いので、今後の防災対策においては女性の視点を取り入れることや、</p>

女性の参画等を推進していくことが極めて重要だ。一般的に、女性の方が男性よりもコミュニケーション能力が高いことを認識していただき、スタッフの配置をお願いしたい。

(3) 防災・減災対策

万一来備え、自宅周辺の災害リスクや避難場所、避難ルート、待ち合わせ場所等を家族で共有しておくことは極めて大切である。こうした準備をしっかりと行かないと、発災時のパニックになってしまう状況では落ち着いた行動ができない。

家具等の転倒や落下防止対策については、地震には間違いなく有効であるのでお勧めしたい。仙台市では、ご自分で取り付けできない高齢者の住宅等に自主防災組織のメンバーが外向き、L字型金具やガラス飛散防止フィルム等の取り付けの対応を行っていた。この対応が被害を抑制したという報告もある。

東日本大震災では、ご存知のように車の燃料が極端に不足し、仙台市でも避難所での生活に大きな影響を及ぼした。当時から11年が経ち、社会の変化によりさらに街中のガソリンスタンドが全国で減少している。これは、ガソリンや灯油の街中での備蓄量が減ることを意味する。私の地元の町内会では、このような状況をふまえて、カセットコンロのボンベで発電が可能な発電機を購入した。皆さんの地域でも、避難所で必要な物資の検討をお勧めしたい。

行政には平等の原則があり、切迫した状況での臨機応変な対応は期待できない。そのため、自分たちで何とかして助け合うのが最良であり、地域の防災力は、コミュニティで高めることが必須である。そして訓練で成功しないことは本番で成功しない。町内会をはじめとする自主防災組織の設置や日頃の訓練を是非進めていただきたい。



開催地より

消防吏員として経験した東日本大震災について、主に災害対策本部の目線による避難所の開設や運営に関する教訓をお話いただいた。災害について具体的にイメージすることができたと思う。本日のお話しを受けて当区では、避難所運営を担う、町会を母体とした自主防災区民組織の、実践的な避難所運営を強化していきたい。